

"本物らしさ"を追求して バードカービング(野鳥の彫刻)

> ふるかわ けん じ **賢司さん (みどり町)**

木片から鳥を彫りだして彩色す る野鳥の彫刻、バードカービング。 その工程は、刃物などで削る・彫る を重ね、顔の凹凸や体の丸み、羽根 の形状を作っていきます。そして、 野鳥の美しい姿をイメージしな がら、彫り上げた鳥に絵の具で彩 色して完成させます。そんなバー ドカービングに取り組んでいるの は、亀山バードカービングサーク ルの古川賢司さん(72歳)。木片が、 生きた鳥のような生命感みなぎる 彫刻に生まれ変わるのが面白いと 話してくれます。その作品は本物 の野鳥みたいで、見物する人も思 わず顔を近づけて繊細な作品に見 入ってしまいます。

―始めたきっかけは?

「退職後に何か趣味を持ちたい と考え、たまたま市の生涯学習講しいところです。また、羽根の重なり

座で習い始めたのがきっかけで す。今ではすっかりのめり込み、焼 きごてや電動工具なども駆使し て、作品をより本物らしく表現で きるよう目指しています。」

―バードカービングの良いところは?

「完成までに時間を要しますが、 作品ができあがった時の充実感は 別格です。また、細かい作業で頭と 指先を使ったり、作品づくりの参 考のために、野鳥を観察しに野山 を散策したりなど、心身の健康に とても良いです。興味のある人は、 簡単に始められるキット(道具一 式)も売られていますので、ぜひ趣 味の一つにお勧めです。|

一作品を作る上で大変なところは?

「野鳥の自然な顔立ちを表現す るのに、目と嘴のバランスが難し

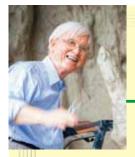


を表現するのに細かく削ったり、 色を少しずつ重ね塗ったりしてい く過程はとても神経を使います。」 一これからは?

「バードカービングの奥深さや 楽しさを多くの人に知ってもら い、仲間が増えると良いですね。そ して仲間で作品展を開催し、お客 さんが作品を見て『本物みたい』と 驚いてもらえたら嬉しいですね。」



刻片 にが 変 本 わ物 \mathcal{O} 野 2



亀山市名誉市民

中村 晋也

作品紹介「ふるさとあい」 Vol.1

「五代友厚公」(平成16(2004)年建立)

五代友厚は1835年、薩摩藩に生まれました。少年時代か ら自作の地球儀を作るなど、その目は世界へと向いていた ようです。30歳のとき薩摩藩英国留学生の一員としてヨー ロッパへ渡り、帰国後は大久保利通らとともに明治政府 で活躍しました。後に大阪経済を立て直すため官を辞し、 大阪商法会議所や大阪株式取引所などの創設に尽力し 「大阪の恩人」として今も人々に慕われています。この像は 大阪市北浜、元大阪証券取引所の前に3m75cmの堂々と した姿で立っています。



特別協力 公益財団法人中村晋也美術館(URL http://www.ne.jp/asahi/musee/nakamura/index.html)